

## 2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	単位数	2	学年	3	コース	教養フロンティア
							必修・選択	必修	
使用教材	教科書	「Vision Quest Expression II Hope」(啓林館)							
	副教材	「Vision Quest Expression II Hope WORKBOOK」(啓林館) 「Vision Quest 総合英語」(啓林館) 「Vision Quest English Expression I Standard」(啓林館) 「Vision Quest English Expression I Standard Workbook」(啓林館)							

### 学習目標

- ・英文法についての理解を深め、英文を適切に「聞く」「話す」「読む」「書く」能力を高める。
- ・今までに学んだ英文法を活用し、自分の考えを英語で表現することを通して、発信力を高める。
- ・様々な英文に触れてその文法構造を理解し覚えていくことを通して、物事を体系的にとらえ記憶する力を身につける。

### 学習方法

1・2年時に学んだ単語及び文法の知識を総合的に活用し、3年時は英文を作り発信することを目標にして授業を行います。受験に必要なのは知識ですが、知識は発信することで初めて完全な理解に繋がりと、記憶として定着します。今までの英語学習で習ったことをフル活用して英文を書き、話してみてください。そこで大切なのは、間違いを恐れないことです。言語はトライアンドエラーを繰り返して磨き上げられるものですので、小さな間違いは気にせず、どんどん発信してください。なお、適宜既習事項を復習しながら学習していくのでVision Quest I standard (オレンジ色の教科書)も授業に持参してください。

### 学習評価

○次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

<b>①意欲・関心・態度</b>	授業或いは課題について、意欲的かつ真摯に取り組んだか。 他者とのコミュニケーションを積極的に図り協働する姿勢が見られたか。
<b>②思考・判断・表現</b>	学んだ事柄を基に更に探究的に思考を深め、課題に対して適正な判断に基づき、自らの意見・考えを表現できたか。
<b>③技能</b>	基本的な英文構造で、平叙文、疑問文等状況にあった英語で発信することができる。
<b>④知識・理解</b>	授業内容を理解し、知識を定着させたか。

評価方法\観点	①	②	③	④	
テスト				◎	定期考査
英作文		◎			各Lessonで実施
取り組み	◎				自己評価用紙
英語による発信			◎		プレゼン、ディスカッション、ディベートの様子

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

### 学習方法等のアドバイスなど

1、2年時のように文法事項を中心とした授業ではなくなるので、各自これまで習得した文法事項を忘れないようにVision Quest Standard (1年時のオレンジの教科書)等を用いて復習をしたり、必要がある者は個別に進学者向けの文法書を書店等で購入し、取り組みましょう(教材に関して質問がある者は気軽に英研に来てください)。

## 年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書part1の「文をデザインする」で文を書くために重要な文法事項を学習する。</li> <li>・教科書part2 (Lesson1)でパラグラフの構成及び「列挙、順序」の文章展開パターンを理解し、活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法事項の確認する。</li> <li>・英語のパラグラフには決まった型があることを理解することでリーディングスキルアップにも繋げる。</li> <li>・日本語力と英語力に大きな差があることを理解し、英語による発信力を高めるには物事をシンプルに考える必要があることを実感する。</li> </ul>	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業自己評価</li> <li>・Lessonごとに作成する英作文</li> </ul>
2 学期 30単位時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書part2 (Lesson 2～5)で「例示、追加・比較、対象・原因、理由、結果」の文章展開パターンを理解し、活用する。また、英文の要約方法について学ぶ。各単元にかける時間は2～3授業時間を目標に進める。</li> <li>・教科書part3でプレゼンテーションの方法について学び、実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで習ってきた単語、文法の知識に加え、Part2で習得した英文構造の知識も活用しながら分かりやすい原稿を書く。</li> <li>・プレゼンテーションについての知識、準備、注意事項等を学び、人前で話す力を付ける。</li> </ul>	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業自己評価</li> <li>・プレゼンテーションの内容</li> <li>・Lessonごとに作成する英作文</li> </ul>
3 学期 18単位時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書part3のLesson2でディスカッションの方法について学び、実践する。</li> <li>・教科書part3のLesson3でディベートの方法について学び、実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスカッションやディベートなど、話し合いの仕方にも種類があることやそれぞれどのような違いがあるのかを理解する。それぞれの型に沿った文章を作成し、それを基にやりとりをすることでコミュニケーションスキルを身につける。</li> </ul>	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業自己評価</li> <li>・ディスカッション及びディベートの自己評価</li> </ul>